

平成25年度関東東海北陸農業試験研究推進会議経営部会及び秋季研究会開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議

経営部会 部会長 仁平 恒夫

1. 趣 旨

農商工連携促進法や6次産業化法、6次化ファンド法などが制定され、農政の重点課題に6次産業化、農商工連携が位置づけられている。そこでは、新たな連携事業体を確立し、農業、農村において新たな付加価値を生み出すための各種支援方策が打ち出されている。そこで、経営部会春季研究会では「農商工の連携関係に関する研究アプローチ」をテーマに今後の研究方法について意見交換を行った。

秋季研究会では、「千葉県南房総地域における6次産業化の取り組みと課題」をテーマに、千葉県君津地域及び南房総地域における取組事例の検討を通じて、6次産業化に向けた各主体同士の連携方策や今後の望ましい方向性を検討する。南房総地域は条件不利地も多く高齢化も進んでいるが、南房総市では「道の駅」数が全国第1位（岐阜県高山市と同数）であるなど、地元自治体等の6次産業化の取り組みが盛んである。

2. 開催日時 平成25年11月7日（木）12時30分～11月8日（金）16時

3. 開催場所 ホテル千成および南房総地域直売所

4. 議 事

1) 現地視察 11月7日（木）

12:30 JR木更津駅集合

12:45 出発

13:05-13:35 袖ヶ浦市農畜産物直売所「ゆりの里」視察

14:50-15:20 道の駅「和田浦WA・0」視察

16:05-16:35 道の駅「富楽里」視察

17:15 君津駅前着

18:30-20:30 情報交換会：ホテル千成

2) 南房総地域における6次産業化の取り組みと課題 11月8日（金）

ホテル千成（君津市）

9:00 開会、あいさつ

9:10-9:35 南房総市における6次産業化の基本戦略

南房総市農林水産部 佐久間 正博

9:35-10:15 南房総市における「道の駅」の現状と課題

南房総市商工観光部 鈴木 三博
株式会社富楽里とみやま 黒川 正吾

10:15-10:45 「熱帯村」のパッションフルーツを軸とした各関係組織とのコラボレーションについて

熱帯村 代表 地曳 昭裕
君津農業事務所 本居 聡子

コメント

パッションフルーツに関する支援、「6次化プロ」による支援などについて

農林総合研究センター暖地園芸研究所 赤山 喜一郎

11:00～11:50 総合討議

3) 関東東海北陸農業試験研究推進会議経営部会 11月8日(金) 13時～16時

ホテル千成(君津市)

議事: ①国が重点的に研究開発を推進すべき技術的課題への対応について

②今年度の研究の進捗状況

③今後推進すべき研究問題と研究戦略

④その他

4. 参集範囲

関東東海北陸地域公立試験研究機関・行政機関・普及機関、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、関東東山東海農業経営研究会関係者、農林水産政策研究所、農研機構内研究所、中央農業総合研究センター、その他部会長が必要と認めた者

5. 参加費 情報交換会6000円

6. 参加申込

参加を希望される方は、10月25日(金)までに、別紙申込用紙にご記入の上、Faxまたはメールにより事務局まで申し込みください。

なお、宿泊は会場近くに多くのホテルがありますので、各自で手配くださいますようお願い致します。

7. 事務局および申込先

秋季研究会事務局及び申込先

千葉県農林総合研究センター 企画経営部(担当:溝田俊之)

〒266-0006 千葉県千葉市緑区大膳野町808

TEL:043-291-9993 FAX:043-291-9532、メール:t.mzt@pref.chiba.lg.jp